

〔續山の井春〕蓬萊附組

蓬萊のかざりはかぐのこのみ哉 伊賀上野 一笑略○中

ほだわらや

祝儀表する宿の春

越前福井

祐元

梅ぼしや實さへ花さへけふの春

如貞

かすのこの

いはひ初るや太郎月

筑前之住井土氏

辰政

〔改正月令博物筌 正月〕

蓬萊いはふ蓬萊島は仙人の住處にて、此處の菓物を喰へば、不老不死に至る。蓬萊と名づけ、祝ふ也。餅、蓬萊や、喰積蓬萊の飾は、口に喰ふて、長壽を得ん心也。餅、ぼつ積あらす夫

積あらす夫

〔華實年浪草 正月〕

蓬萊飾、喰積中略史記本紀曰、海中有三神山、曰蓬萊、方丈、瀛州、僊人居之、列子曰、皆仙聖之種、云々蓬萊盤據之平、

〔日本歲時記 正月〕

元日略○中 禮終て春盤をなむ、和國の風俗にて、盤上に松竹、鶴龜などを作てす

へ、栗、榎、海藻、海鰻みかん、かうじ、たちばな、米柿などつみかさねて、これをなむ、歲初に來る賀客にも是をす、む、是を蓬萊といふ、蓬萊は仙嶋なれば、その名とするならし、もるこしにも春餅生菜

などを盤上に盛、春盤と名付て、なむる事あるよし、四時寶鏡に見えたり、さればこそ杜子美が詩にも、春盤細生菜とつくれり、また周處が風土記に、正旦楚人五辛盤を上る事をゑるせり、かうや

うの遺意にや侍らん

〔水戸歲時記 正月〕

元日略○中 賀客内へ入トキハ、クヒツミヲ出ス、客モコレヲイタク、酒ヲ出シ

杯事アリ、肴ハ大方カヅノコヲ用、

十二月晦略○中

明日ノクヒツミ、或ハ神ニ備ル餅ナドカザ

ル

〔月令廣義 正月〕

春盤生菜晉李鄂於立春日、以蘆葍芽為菜、盤相、春餅、唐人立春日食春餅、生菜、號餅者、薄劑、傳菜、肉、五辛盤、爲之、亦以佐黃柑酒者、

〔年中行事故實考 正月〕

元日

蓬萊

三方にうら白、ゆづり葉、榎、から栗、海老、ほだはら、みかん、かう